

縁側コミュニティ住宅

コミュニティ形成の場となる
縁側デッキに開いた住まい

改修住戸

26号棟 202号室・203号室

増築部の上部を共用空間(縁側デッキ)とし、デッキ側に主玄関を設け暮らしが表出する設えとしました。既存の玄関は階段室単位でのお付き合いのための勝手口として残しています。縁側デッキは路地廊下でエレベーターとつながり、階段で街とつながります。

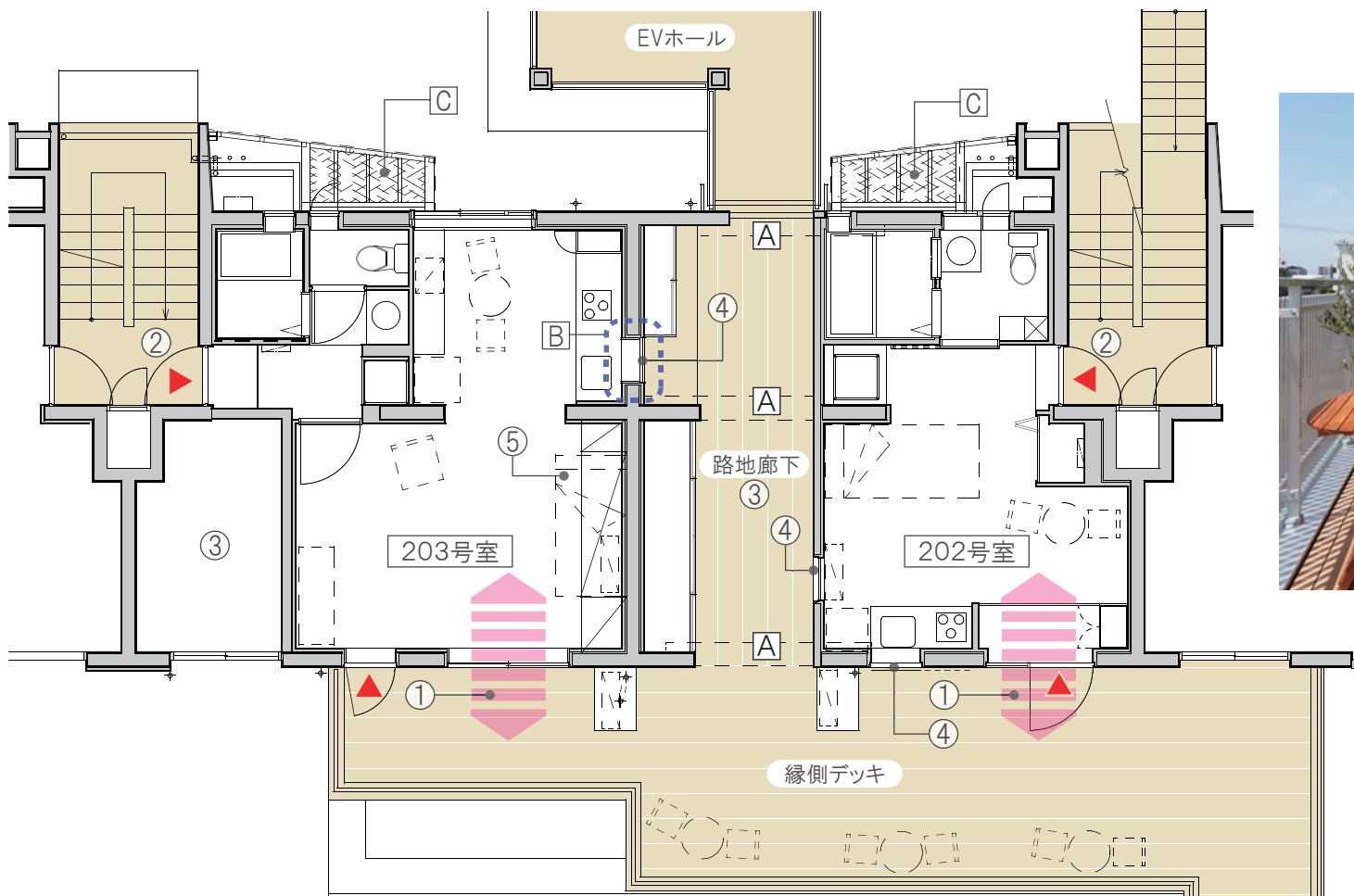
共用空間化などにより小さくなった住宅には、単身の高齢者(202号室)と若者(203号室)とが隣り合って居住することを想定。縁側デッキを介して居住者間の対話、ふれあい等のコミュニティ形成が促進されることを意図しています。

□住戸面積 : 202号室 約25㎡

203号室 約34㎡

□住戸型式 : ワンルーム

□天井高 : 2300mm / 梁下1800mm



技術検証項目

- A 梁せいの縮小
- B 壁開口の新設(窓の設置)
- C 共用配管の外部化(メンテナンスデッキ)

住戸企画

- ① コミュニティ形成の場となる縁側デッキに開いた住宅
- ② 階段室コミュニティのための勝手口
- ③ 共用空間化・隣戸の拡大に伴う住戸規模の縮小
- ④ 共用空間とゆるやかにつながる窓
- ⑤ 壁面収納ベッド

